

## 令和2年度 第9回

### 1月 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日時：令和3年1月21日（木） 15:00～16:20
場所：第1研究棟2F大会議室
出席者： 委員長 豊嶋英明 委員 八谷寛、服部一郎、村上健次、櫻井香、松原徳和、鷺見幸彦、 新飯田俊平
出席委員数/全委員数： 8人/11人
審議事項 申請課題数：新規申請課題 1件
その他審議事項：倫理・利益相反委員会規程の一部改正について了承された。 ・倫理審査：多機関共同研究（長寿が分担）については、研究代表者による他機関での倫理審査委員会による審査承認をもって、理事長による研究実施の許可を裁可する。 ・利益相反審査：競争的研究費、内部研究費のみを使用する研究については、利益相反（COI）関連状況報告書の提出を不要とする。

#### 申請課題について

NO. 1	受付番号：1499 課題名：新型コロナウイルス感染症流行下の在宅高齢者におけるフレイル予防対策を促進させる介入手法の開発：NCGG-HEPOP を用いたフレイル予防プログラムの実施可能性試験（パイロット研究） 申請者：小嶋 雅代 審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。 倫理審査結果：条件付き承認（修正内容の確認をもって承認とする。） 〈条件〉 1. 申請書に予定登録数60とありますが、ボランティアスタッフ何名と高齢者何名を対象としているのか、研究計画書に明記してください。またその症例数の根拠があるのであれば、追記してください。 2. 研究計画書に1層目のボランティアスタッフに対して行う介入プログラム
-------	--

	<p>の促進・阻害要因についてのプログラムの評価方法及び2層目の高齢者に対する健康状態の変化についての効果の検証方法についても記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>3. 研究計画書 &gt;4.4研究実施の流れ &gt;2) の表1において、「2 1日当たりの運動目標を設定」とありますが、誰がどのように設定するのか記載してください。</li><li>4. 説明書において、単に相談窓口を記載するのではなく、研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応について具体的に記載してください。また公開データベースに本研究を登録している旨も追記してください。</li><li>5. 研究対象者に生じる経済的負担について、研究計画書の記載内容を説明書にも記載してください。</li></ol> <p>利益相反審査結果：非該当で承認</p>
--	--